

道徳の時間学習指導案

福山市立旭小学校

指導者 池田 律子 (T1)

松井 博子 (T2)

介助員 三嶋 弓恵

1 日 時 平成14年12月10日(火)

2 学 年 池田学級3名(3年生1名, 5年生2名)
松井学級3名(3年生1名, 4年生1名)

3 場 所 松井学級

4 主題名 みんなの力で 2-(3) 助け合い

5 ねらい みんなが知恵を出し合い、力を合わせようとする意欲・態度を育てる。

6 資料名 「おともだち」 (なかま 一部改作)

7 主題設定の理由

○ 思いやりの心をもって、相手の気持ちを自分におきかえて考えることは、よりよい友だち関係を築いていく上で大切なことである。さらに、互いを認め合い、学習活動や生活を通して助け合い、理解し合い、信頼感や友情を育てることが大切である。そこで、自信をもって毎日をその子らしく明るくたくましく生活していくためにも、身近にいる友だちとなかよく活動し、助け合うことの大切さを指導していく必要があると考える。

○ 池田・松井学級の児童は、けんかやぶつかり合いを重ねながらも共に生活する中で友だちを認め、相手の気持ちを考えようとしてきている。縦割りそうじやバスに乗って出かけていく活動の中でも、少しずつあたたかい言葉かけや親切な行いがみられるようになってきている。しかし、まだまだ友だちの大切さや信頼し助け合う喜びやよさには十分気づいていないといえない。

○ 資料「おともだち」は、川をわたるためにみんなが知恵を出し合い、協力していかだをつくり、そろって無事渡ることができたという話である。

指導にあたっては、資料を紙芝居にして読み、登場人物の気持ちに共感させながら、場面ごとに、自分たちだったらどうするかを考えさせていきたい。一人ひとりがかけがえのない大切な存在であったことや協力することの大切さ、すばらしさに気づかせ、助け合っていこうとする態度を育てていきたい。

また、今後は学校生活の様々な場面で友だちとの関わりを深め、互いに理解し、認め合い、助け合えるようにしていきたい。

8 準 備 影絵用型紙 ライト 紙芝居 板書用掲示物 パネルシアター
ワークシート

9 学習展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の反応	支援○と評価☆
導 入	1 シルエットあて をする。 (T 1)	○これは何でしょう。 ・かえる・・・ぴょんぴょん、泳ぐ ・てんとうむし・・・小さい、とぶ	○登場人物の型紙を 準備する。 ☆興味や関心がもて たか。
展 開	2 課題をつかむ。 (T 2) 3 「おともだち」の 話を聞く。 (紙芝居で) (T 2) 動物たちの気持ち を考える。 (T 2) 川をわたる方法 を考える。 しようとしている ことを考える。 力を合わせてい る様子をつかむ。 4 感想を持つ。 (T 1, T 2)	ともだちって？ ○どんな話かよく聞いてください。 ○川がわたれないでこまっている動物た ちの気持ちを考えましょう。 ・ぼくはおよげないよ。 ・それでもわたりたいな。 ・およげたらいいのに。 ○どうしたら川をわたれるかみんなも考 えてみましょう。 ・橋をつくれればいいよ。 ・かえるにおんぶしてもらったら・・・ ・泳ぎをならうんだよ。 ○どうしようと考えているのでしょうか。 ・つかまって泳いでわたるんだよ。 ・何か作ろうとしているんだよ。 ○どんなことをしたのでしょうか。 ・ねずみ・・・木のえだをくむ ・あり・・・ぼうをたてた ・てんとう虫・・・ぼうをささえた ・ひよこ・・・はっぱをぼうにしばりつけた ・かえる・・・てつだった ○どんな言葉をかけてあげますか。 ・みんなでわたれてよかったね。 ・よくやったね。 ・力を合わせたからすばらしいよ。 ・ぼくたちも助け合っていきたいね。	○場面ごとに立ち止 まりながら考えさ せる。 ○絵を手がかりに考 えさせる。 ○パネルを効果的に 活用する。(T 1) 役割演技 ○自分だったらどう するかを考えさせ る。 ☆人の話をよく聞い たか。自分の思い が話せたか。 ○自分なりに思いを 表現させる。 ☆ことばや文や絵で 自分なりの思いを 表しているか。
終 末	5 まとめをする。 (T 1)	○こんな話もあるよ。	○友だちと助け合っ ていこうとするよ うに意欲づける。